

2017 年度事業報告

2017 年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 道普請人

1. 事業の成果

事業国	事業名	資金源
a) ケニア	1. 若者グループに対する持続的な雇用創出と自立支援に向けた「土のう」による道路補修事業（第3フェーズ）、（N連VI年目）	外務省 H28 年度 NGO 連携無償資金協力事業（N連）
	2. プロジェクト調査事業	外務省 （国際開発協力関係民間公益団体補助金）2017 年度
	3. 次世代に資源を残すために地域で取組む東アフリカ最大のマウ天然自然林保全プロジェクト（トヨタ環境 16/17）	トヨタ環境活動助成プログラム 2015 年度
	4. マサイの人々の暮らしと環境との調和に向けた子供たちへの環境教育と天然林保全（トヨタ環境 18/19）	トヨタ環境活動助成プログラム 2017 年度
	5. 地方分権下における小規模園芸農民組織強化・振興プロジェクト、土のうによる農道整備	（独）国際協力機構（JICA）、業務実施（単独型）契約
b) ブルキナファソ	1. 農民組織の持続的な活性化に向けた「土のう工法」を用いた農道改築事業（第3フェーズ）、（N連III年目）	外務省 H29 年度 NGO 連携無償資金協力事業（N連）
	2. ブルキナファソ西部における住民参加型地方道路整備事業	（公財）日本国際協力財団助成事業
c) ルワンダ	若者の持続的な雇用創出に向けた現地資材を活用した労働集約型未舗装道路整備事業 第1フェーズ（N連I年目）	外務省 H29 年度 NGO 連携無償資金協力事業（N連）
d) エチオピア	アジスアベバ科学技術大学、エチオピア道路公社と連携した、土のうによる未舗装道路整備手法の粘性土地盤への適用性検証	京都大学
e) フィリピン	1. NPO 法人 GLMi が実施する外務省 NGO 連携無償資金協力事業での専門家活動/渡河構造物設置	NPO 法人 GLMi
	2. フィリピン山間部における、洪水時集落孤立防止のための住民参加型沈下橋補強事業	三井住友銀行ボランティア基金
f) ミャンマー	1. 官民連携での地方道路整備体制確立に向け	外務省 H28, 29 年度 NGO 連

	た未舗装道路改修事業（第1, 2フェーズ）（N連IV, V年目）	携無償資金協力事業（N連）
	2. 京都大学総合生存学館海外インターンシップ支援業務	京都大学総合生存学館
g) パプアニューギニア	ブーゲンビル自治州における住民参加による生活道路維持管理事業（第1, 2フェーズ）（N連I, II年目）	外務省 H28, 29年度 NGO 連携無償資金協力事業（N連）
h) 日本	講演、広報活動	団体自己資金

2. 事業の実施に関する事項

1. 事業名、2. 事業内容、3. 事業実施期間、4. 事業実施国・地域、5. 従事者数、6. 裨益者、7. 事業費について下記にまとめる。

a) ケニア_1

事業名)

若者グループに対する持続的な雇用創出と自立支援に向けた「土のう」による道路補修事業 第2、3フェーズ

事業内容)

- 若者グループに対する雇用創出と自立支援に向けた道路整備手法の実地研修の実施
- 土のう工法標準化に向けた運輸インフラ省資材局との打合せ、データ収集
- 若者グループの会社登録、コントラクター資格取得のための講習への参加支援

事業期間)

2017年4月から2017年12月

実施国、地域)

ケニア共和国、ブンゴマ郡、カジアド郡、エンブ郡、タイタタベタ郡
ブシア郡、マクエニ郡、クワレ郡

従事者数)

3名（木村、喜田、岩村）

裨益者)

土のうによる道路整備やその研修に参加した、ブンゴマ郡、カジアド郡、エンブ郡、タイタタベタ郡、ブシア郡、マクエニ郡、クワレ郡の若者グループメンバー750名、道路沿線住民約1,500名

事業費)

24,056,469 円

ケニア_2

事業名)

プロジェクト形成準備調査事業

事業内容)

- 事業形成に向けた準備調査
- 郡政府との協議

事業期間)

2018年1月から2018年2月

実施国、地域)

ケニア共和国、ブシア郡、ナンディ郡

従事者数)

1名（岩村）

裨益者)

ブシア、ナンディ郡行政官、50名

事業費)

833,988 円

ケニア_3

事業名)

次世代に資源を残すために地域で取り組む東アフリカ最大のマウ天然自然林保全プロジェクト（トヨタ環境16/17）

事業内容)

- 苗木づくりに向けた技術支援
- 苗木生産組織強化

- e. 持続的な苗木生産活動に向けた苗木販路
獲得支援

事業期間)

2017年4月から2017年12月

実施国、地域)

ケニア共和国、ナクル郡

従事者数)

3名(木村、喜田、岩村)

裨益者)

ナクル郡対象グループメンバー400名

事業費)

2,054,237円

ケニア_4

事業名)

マサイの人々の暮らしと環境との調和に向
けた子供たちへの環境教育と天然林保全(トヨ
タ環境 18/19)

事業内容)

- 苗木づくりに向けた技術支援
- 苗木生産組織強化
- 小学校での環境教育、水タンクの設置

事業期間)

2018年1月から2018年3月

実施国、地域)

ケニア共和国、ナロック郡

従事者数)

2名(木村、岩村)

裨益者)

ナロック郡対象コミュニティ 550名

事業費)

841,091円

ケニア_5

事業名)

地方分権下における小規模園芸農民組織強
化・振興プロジェクト、土のうによる農道整備

事業内容)

- 農民組織への土のうによる農道整備研修
教材の作成

- b. 農民組織への土のうによる農道整備研修
成果の調査とその結果に基づく研修手順
提案

事業期間)

2017年4月

実施国、地域)

ケニア共和国、ナイロビ、ムランガ郡、マチ
ャコス郡、エルゲヨマラケット郡

従事者数)

2名(木村、福林)

裨益者)

対象グループメンバー600名

事業費)

266,112円

b) ブルキナファソ_1

事業名)

農民組織の持続的な活性化に向けた「土のう
工法」を用いた農道改築事業(第3フェーズ)

事業内容)

- 住民参加による農道整備の実施と技術移
転
- 未舗装道路整備アソシエーションの設立
支援と能力強化
- 道路管理者、行政官、NGO、ドナー機関等
への土のう工法紹介

事業期間)

2017年11月から2018年3月

実施国、地域)

ブルキナファソ共和国、カスケード州コモエ県、
オート・バッサン州ウエ県

従事者数)

3名(木村、森重、田川)

裨益者)

土のうによる道路整備やその研修に参加し
た、コモエ県、ウエ県の住民100名、道路沿線
住民約1,500名

事業費)

6,206,502円

ブルキナファソ_2

事業名)

ブルキナファソ西部における住民参加型地方道路整備事業

事業内容)

- a. 住民参加による農道整備の実施と技術移転
- b. 道路管理者、行政官、NGO、ドナー機関等への土のう工法紹介

事業期間)

2017年4月から2018年3月

実施国、地域)

ブルキナファソ共和国、バンフォラ市

従事者数)

3名(木村、森重、田川)

裨益者)

土のうによる道路整備やその研修に参加した、バンフォラ市の住民100名、道路沿線住民約500名

事業費)

5,062,047円

c) ルワンダ

事業名)

若者の持続的な雇用創出に向けた現地資材を活用した労働集約型未舗装道路整備事業第1フェーズ

事業内容)

- a. 住民参加による農道整備事業
- b. 若者雇用促進に向けた研修

事業期間)

2018年2月～2018年3月

実施国、地域)

ルワンダ共和国、北部州ルリンド郡、ガケンケ郡、西部州ニヤマシュケ郡、ルシジ郡

従事者数)

3名(木村、岩村、中島)

裨益者)

道路整備研修に参加する住民168人

事業費)

1,494,814円

d) エチオピア

事業名)

アジスアベバ科学技術大学、エチオピア道路公社と連携した、土のうによる未舗装道路整備手法の粘性土地盤への適用性検証

事業内容)

- a. アジスアベバ科学技術大学、エチオピア道路公社との試験施工実施に向けた調査
- b. アジスアベバ科学技術大学構内歩道整備

事業期間)

2017年8月, 2017年11月

実施国、地域)

エチオピア連邦民主共和国、アジスアベバ

従事者数)

2名(木村、福林)

裨益者)

アジスアベバ科学技術大学の教員、学生約300人

事業費)

1,077,923円

e) フィリピン_1

事業名)

NPO法人GLMiが実施する外務省NGO連携無償資金協力事業での専門家活動/渡河構造物建設指導

事業内容)

- a. 住民参加での渡河部構造物(沈下橋, 鉄筋コンクリート橋)の施工

事業期間)

2017年5月

実施国、地域)

フィリピン、ヌエバビズカヤ州

従事者数)

1名(福林)

裨益者)

施工沿線農村部住民、約500人

事業費)

392,100 円

フィリピン_2

事業名)

フィリピン山間部における、洪水時集落孤立防止のための住民参加型沈下橋補強事業

事業内容)

- a. 住民参加での渡河部構造物（沈下橋）の補修，下流浸食部補強

事業期間)

2017年7月

実施国、地域)

フィリピン、ヌエバビズカヤ州

従事者数)

1名（福林）

裨益者)

施工沿線農村部住民、約500人

事業費)

1,060,061 円

f) ミャンマー_1

事業名)

官民連携での地方道路整備体制確立に向けた未舗装道路改修事業 第4/5フェーズ

事業内容)

- a. 住民参加による農道整備、橋梁建設、CSO研修

事業期間)

2017年4月～2018年2月、2018年2月

実施国、地域)

ミャンマー連邦共和国、エーヤワディ地域、カレン州、シャン州、マグエ地域、ネピドー連邦直轄領

従事者数)

6名（木村、田中、堀内、田川、前田、福林）

裨益者)

事業実施地域の住民約3,500人

事業費)

30,888,827 円 (29,095,254 円+1,793,573 円)

ミャンマー_2

事業名)

京都大学総合生存学館海外インターンシップ支援業務

事業内容)

- a. 京都大学総合生存学館海外インターンシップ実施のための支援業務

事業期間)

2017年4月～2017年10月

実施国、地域)

ミャンマー連邦共和国、ネピドー連邦直轄領

従事者数)

3名（木村、福林、前田）

裨益者)

インターンシップ生12名、受入農村の住民約300人

事業費)

718,508 円

g) パプアニューギニア

事業名)

ブーゲンビル自治州における住民参加による生活道路維持管理事業（第1,2フェーズ）

事業内容)

- a. ブーゲンビル自治州における現地材料、住民参加による農道整備事業

事業期間)

2017年3月～2017年11月、2018年3月

実施国、地域)

パプアニューギニア、ブーゲンビル州、ブカ島、ブーゲンビル島

従事者数)

3名（木村、吉田、福林）

裨益者)

ブカ県レケ村、ノバ村、ハンガン村、ピルアナ村、バリアナ村の住民約700人

事業費)

16,740,376 円(16,059,574 円+680,802 円)

h) 国内

事業名)

国内・講演・広報など共通事業

事業内容)

- a. 各地で講演会、展示会、広報資料作成、配布

事業期間)

2017年4月～2018年3月

実施国、地域)

日本国内

従事者数)

9名(木村、岸田、日下部、児島、瀧川、田中、若山、福林、須摩谷)

裨益者)

国内、不特定多数

事業費)

2,779,313円

2017 年度上半期活動内容

主な活動	2017					
	4	5	6	7	8	9
ケニア						
外務省H27/28年度NGO連携無償資金協力事業（木村、喜田、岩村）						
トヨタ環境活動助成、環境保全プロジェクト（木村、喜田、岩村）						
国連人間居住計画(UNHABITAT)事業、NPO法人ピースウィンズジャパンとの難民・地元住民支援事業（喜田、岩村）						
JICA, SHEPPLUS 市場志向型農業振興プロジェクト（木村、福林）	—					
ブルキナファソ						
日本国際協力財団助成、バンフォラ市内道路整備事業（木村、森重、田川）						
エチオピア						
理事長を研究代表者とする科研事業での現地調査（木村、福林）						+
ミャンマー						
外務省H28年度NGO連携無償資金協力事業（木村、前田、田中、堀内、田川）						
フィリピン						
NPO法人GLMI実施NGO連携無償資金協力事業での専門家活動・渡河構造物設置（福林）		—	—			
パプアニューギニア						
外務省H28年度NGO連携無償資金協力事業（木村、福林、吉田）						
国内						
広報活動（木村、岸田、日下部、田中（稔）、瀧川、児島、若山、福林、須摩谷）						

助成事業等

事業名：若者グループに対する持続的な雇用創出と自立支援に向けた「土のう」による道路補修事業（第3フェーズ）

資金協力団体：外務省、平成28年度日本NGO連携無償資金協力

事業期間：2016年11月から2017年11月（ケニア）

事業名：次世代に資源を残すために地域で取組む東アフリカ最大のマウ天然林保全プロジェクト

助成団体：「トヨタ環境活動助成プログラム」2015年度

事業期間：2016年1月から2017年12月（ケニア）

事業名：ブルキナファソ西部における住民参加型地方道路整備事業

資金協力団体：財団法人日本国際協力財団

事業期間：2017年4月から2018年3月（ブルキナファソ）

事業名：官民連携での地方道路整備体制確立に向けた、未舗装道路改修事業

資金協力団体：外務省、平成28年度日本NGO連携無償資金協力

事業期間：2017年2月から2018年2月（ミャンマー）

事業名：ブーゲンビル自治州における住民参加による生活道路維持管理事業

資金協力団体：外務省、平成28年度日本NGO連携無償資金協力

事業期間：2017年3月から2017年10月（パプアニューギニア）

事業名：他NPOが実施する日本NGO連携無償資金協力事業での、渡河部対策工

資金協力団体：外務省、平成28年度日本NGO連携無償資金協力

連携先団体：NPO法人グローバルリンクマネジメントインスティテュート

事業期間：2017年5月から2017年7月（フィリピン）

事業名：フィリピン山間部における、洪水時集落孤立防止のための住民参加型沈下橋補強事業

資金協力団体：三井住友銀行ボランティア基金

連携先団体：NPO法人グローバルリンクマネジメントインスティテュート

事業期間：2017年4月から2017年9月（フィリピン）

農村部の貧困に苦しむ人々の
やる気と自信を引き出すために

「自分たちの道は自分たちで直せる」

という意識を広げたい

2017 年度上期活動概要



他NPOの要請に応え、技術指導し建設した渡河部対策工（フィリピン）



認定NPO法人 **道普請人**
みちぶしんびと

主な広報活動

日程	内容
5月30日	国連機関国際労働機関（ILO）発行の、日本とILOの開発協力に関するパンフレットの中で、ソマリアにて道普請人が技術指導を行った道路整備事業が紹介されました。
7月6日	ケニアでの若者への土のう工法・道路整備技術訓練の修了式で、全国紙2紙より取材を受け、記事が掲載されました。
8月31日	京都市「NPO法人への寄附促進に向けた広報活動支援補助金」を利用し、団体リーフレットを作成しました。
9月4日	国際開発ジャーナル8月号「論説委員視点」に、「行きたくなる」仕掛けづくり、若者よ、世界に飛び出そう」と題した理事長木村教授の論考が掲載されました。

活動報告

パプアニューギニア

- 2019年に独立是非を問う住民投票が行われるブーゲンビル自治州政府と連携し、プカ島にて、現地資源を利用した住民参加による道路整備を行いました。
- 労働集約的な手法でも、住民が力を合わせ適切に整備を行うことで、生活改善が一步進むことを、住民、自治州政府に示すことができました。



吉田シニア専門家による指導



路面沈下部に土のうを敷設する様子



既設パイプ端部を土のうで補強



事業成果発表ワークショップで現地視察

ケニア

- 中央地域マクエニ郡および沿岸地域クワレ郡にて、郡政府と連携し、若者計8グループ（200名）に対する土のう技術移転訓練を実施し、泥濘化した道を整備しました。
- リフトバレー地域ナクル郡にて、住民参加型の環境保全活動啓発のため、苗木生産場の整備や地域ぐるみの植林イベントを行いました。



マクエニの現場での締固め作業



地域住民による植林活動

フィリピン

零細稲作農家の営農支援事業に協力し、川を安全に渡り市場へのアクセスが改善されるよう、パイプ付沈下橋の設計、積算、施工監督を行いました。参加農家が非常に熱心でした。



パイプ設置位置確認状況



パイプ間中詰材バケツリレー

ブルキナファソ

西部バンフォラ市内の道路を、土のう工法を利用し整備しました。雨季でも状態がよく、市民からは驚きや感謝の声、そして他でも実施できないかと問合せの声が寄せられています。



土のう締固めの様子



整備後の雨季の様子

ミャンマー

- 事業地ごとに現地に適した手法で道路整備を行い、事業後の維持管理も住民で行えるように研修も行いました。
- 中央政府に対して、専門家とともに土のう工法の説明を行いました。大きな関心が寄せられました。



砕石敷き並べの様子



土のうと石積による斜面補強



維持管理計画研修の様子



土のう工法説明の様子

施工延長(2017年9月末日現在)

	累計(m)	2017年度 上期(m)
ケニア	29,069	861
ブルキナファソ	6,051	642
ミャンマー	20,667	2,480
フィリピン	353	25
パプアニューギニア	87,958	3,550
その他(カンボジア、ソマリア、他)	12,254	0
合計	156,352	7,558

認定NPO法人です！

京都市より「運営組織及び事業活動が適正であり公益の増進に資する」と認定を受けています。当団体へのご寄付は税制優遇の対象となります。詳しくは当団体ホームページへ

問合せ先

NPO法人 道普請人
事務局: 福林良典
Tel: 075-343-7244
E-mail: info@coreroad.org
URL: <http://coreroad.org/>

農村部の貧困に苦しむ人々の
やる気と自信を引き出すために

「自分たちの道は自分たちで直せる」

という意識を広げたい

2017年度下期活動概要



ブーゲンビル自治州での道路整備状況（パプアニューギニア）



認定 NPO 法人

みちぶしんびと
道普請人

2017年度下半期活動内容

主な活動	2017			2018		
	10	11	12	1	2	3
ケニア						
外務省H28年度NGO連携無償資金協力事業（木村、岩村）						
外務省国際開発協力関係民間公益団体補助金（木村、岩村）						
トヨタ環境活動助成、環境保全プロジェクト 2015年度/2017年度助成（木村、岩村）						
ルワンダ						
外務省H29年度NGO連携無償資金協力事業（木村、岩村、中島）						
ブルキナファソ						
日本国際協力財団助成、バンフォーラ市内道路整備事業（木村、森重、田川）						
外務省H29年度NGO連携無償資金協力事業（木村、森重、田川）						
エチオピア						
理事長を研究代表者とする科研事業での事業成果発表（ILOアフリカ地域会議）（木村、福林）			-			
ミャンマー						
外務省H28/29年度NGO連携無償資金協力事業（木村、田中、堀内、田川、前田、庄司）						
京都大学総合生存学館海外インターンシップ支援業務（木村、前田）						
パプアニューギニア						
外務省H28/29年度NGO連携無償資金協力事業（木村、吉田、福林）						-
国内						
広報活動（木村、岸田、日下部、田中（稔）、瀧川、児島、若山、福林、須摩谷）						

助成事業等

事業名：若者グループに対する持続的な雇用創出と自立支援に向けた「土のう」による道路補修事業（第3フェーズ）

資金協力団体：外務省，平成28年度日本NGO連携無償資金協力
事業期間：2016年11月から2017年11月（ケニア）

事業名：プロジェクト調査事業

資金協力団体：外務省，国際開発協力関係民間公益団体補助金
事業期間：2018年1月から2018年2月（ケニア）

事業名：次世代に資源を残すために地域で取組む東アフリカ最大のマウ天然林保全プロジェクト

助成団体：「トヨタ環境活動助成プログラム」2015年度
事業期間：2016年1月から2017年12月（ケニア）

事業名：マサイの人々のくらしと環境との調和に向けた子供たちへの環境教育と天然林保全

助成団体：「トヨタ環境活動助成プログラム」2017年度
事業期間：2017年1月から2018年12月（ケニア）

事業名：農民組織の持続的な活性化に向けた「土のう工法」を用いた農道改築事業 第3フェーズ

資金協力団体：外務省，平成29年度日本NGO連携無償資金協力
事業期間：2017年11月から2018年11月（ブルキナファソ）

事業名：ブルキナファソ西部での住民参加型地方道路整備事業

資金協力団体：公益財団法人日本国際協力財団
事業期間：2017年4月から2018年3月（ブルキナファソ）

事業名：若者の持続的な雇用創出に向けた現地資材を活用した労働集約型未舗装道路整備事業 第1フェーズ

資金協力団体：外務省，平成29年度日本NGO連携無償資金協力
事業期間：2018年2月から2019年2月（ルワンダ）

事業名：ブーゲンビル自治州における住民参加による生活道路維持管理事業（第1,2フェーズ）

委託団体：外務省，平成28,29年度日本NGO連携無償資金協力
事業期間：2017年3月から2017年10月（第1フェーズ）

2018年3月から2018年10月（第2フェーズ）

（パプアニューギニア）

事業名：官民連携での地方道路整備体制確立に向けた未舗装道路改修事業

資金協力団体：外務省，平成28,29年度日本NGO連携無償資金協力
事業期間：2017年2月から2018年2月（第1フェーズ）

2018年2月から2019年2月（第2フェーズ）（ミャンマー）

主な広報活動

日程	内容
10月30日	産業新聞、「Monday Interview スペシャリストに聞く」欄に、理事長木村教授のインタビュー記事が掲載されました。
11月13日	福林理事がエチオピアで開催された ILO The 17th Regional Seminar for Labour-based Practitioners に出席、アフリカでの活動について発表しました（於ネルソマンデラホール、アフリカ連合本部）。
12月6日	平成29年度 JIGA 道路行政研修の道路関係技術紹介のプログラムで、福林理事が道普請人の活動を22人の研修生に対して説明しました。
3月22日	近畿経済産業局主催「関西 SDGs 貢献ビジネスネットワーク キックオフ会合」が開催され、木村理事長がパネルセッションのモデレーターとして参加し、事例紹介などを行いました。

活動報告

ケニア

- NGO 連携無償資金協力(N 連)の下、ケニア政府の土のう工法仕様標準化に向けての協働道路調査を実施しました。また、12月に訓練生の若者や全道路行政関係者を召集し、ケニア N 連 6年間のまとめとなるワークショップを開催しました。
- トヨタ環境助成プログラムにて、ナクル郡における育苗や植林などの活動を終了し、12月に事業完了式を実施しました。
- 1月にナロック郡のマサイ・マウ森林にてトヨタ事業を開始し、裨益農民グループ等を集め、事業開始式を実施しました。



ケニア政府との合同調査



N 連 (6年間) 総括ワークショップ



15年度助成完了式 (ナクル)



17年度助成開始式 (ナロック)

パプアニューギニア

ブーゲンビル自治州政府と協力し、北部州ブカ島にて現地資源を利用した住民参加型道路整備を行いました。自治州政府からの要請もあり、中部州アラワにて第2フェーズを実施します。



第1フェーズ終了時のワークショップ



第2フェーズの事務所

ルワンダ

ルワンダにて、外務省 NGO 連携無償資金協力の助成を得て、事業を開始しました。ケニア事務所がサポートし、新規雇用の中島駐在員、ルワンダ人スタッフとともに事業を進めます。



ワークショップ参加者全員の集合写真



参加者との活発な質疑応答

ブルキナファソ

外務省 NGO 連携無償資金協力からの助成を得て(第3フェーズ)、住民との道路整備を開始しました。



施工前の住民会議



専門家による測量



路盤整形



坂部コンクリート舗装での鉄筋組

ミャンマー

ミャンマーの地方 3 地域で道直しを行いました。住民たちは、道が良くなったことに大喜び！自分たちの力で道を直せたことに大きな自信を得ました。また、地道な研修を繰り返し行うことで、維持管理を継続して行う住民組織も現れています。



施工前の道路



施工後の道路



維持管理研修



専門家による土のう工法研修

施工延長(2018年3月末日現在)

	累計(m)	2017年度 下期(m)
ケニア	29,157	88
ブルキナファソ	6,173	122
ミャンマー	23,667	3,000
その他(バングラディッシュ、ガンビア、 フィリピン、パプアニューギニア、ソマリア、他)	100,565	0
合計	159,562	3,210

道普請人は認定 NPO 法人です。

京都市より「運営組織及び事業活動が適正であり公益の増進に資する」と認定を受けました。

当団体へのご寄付は税制優遇の対象となります。

詳しくは当団体ホームページへ

問合せ先

NPO 法人 道普請人
事務局: 福林良典

Tel: 075-343-7244

E-mail: info@coreroad.org

URL: <http://coreroad.org/>